

にらめっこ

迎春

発行責任者 廣瀬邦治 印西市木下東4-6-13
TEL 090-1706-2572 Eメール k.hirose8394727@gmail.com
印西・九条の会ホームページ: <http://inzai9jyounokai.webnode.jp/>

核兵器も戦争もない世界を求めて

日本被団協がノーベル平和賞を受賞



2024年12月10日 ノルウェー、オスロ
被団協「核も戦争もない世界を」 ノーベル平和賞授賞式

2024年12月10日、ノーベル平和賞授賞式がノルウェーの首都オスロで開かれ、日本被団協の田中熙巳代表委員が講演しました。田中さんは、「原爆被害は戦争を開始し遂行した国によって償われなければならない」「核兵器は速やかに廃絶しなければならない」と語りました。

また「皆さんがいつ被害者になってもおかしくないし、加害者になるかもしれない。核兵器をなくしていくためにどうしたらいいか、世界中の皆さんで共に話し合い、求めていただきたい」と発言すると、会場は大きな拍手に包まれました。

防衛費GDP比2%がもたらすもの

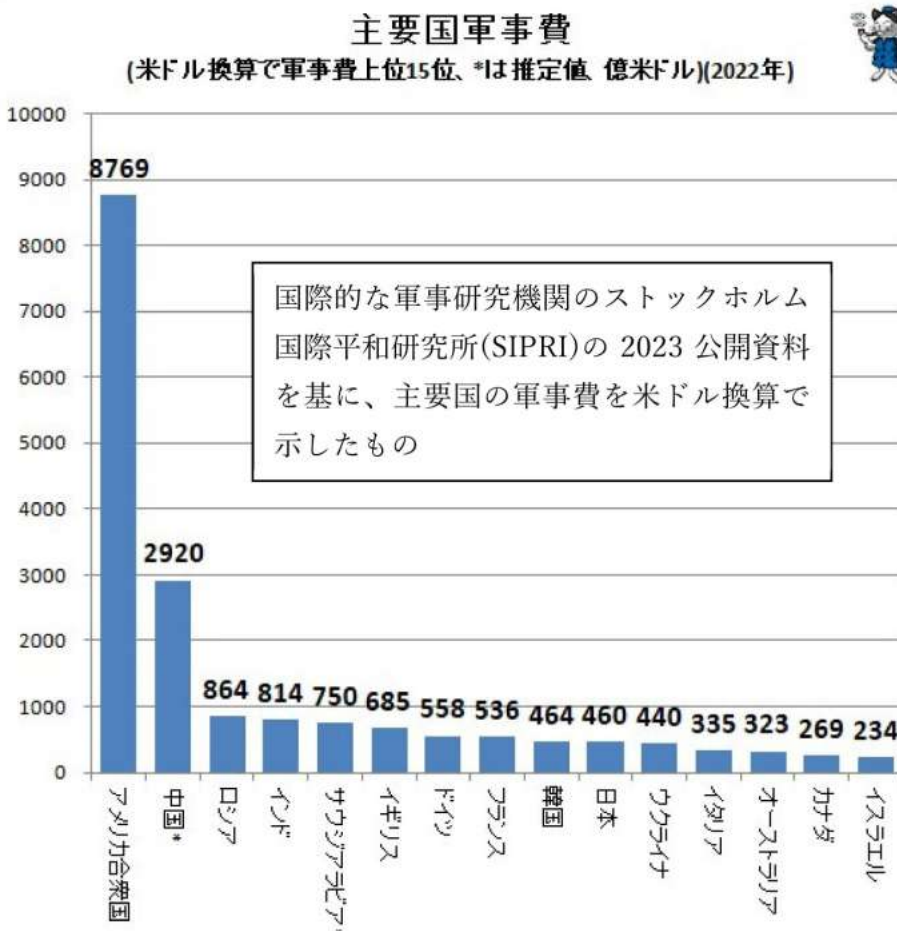
印西・九条の会代表
中垣 啓

ご存知の通り、日本政府は2023～27年度の5年間の防衛費を総額約43兆円とし、年防衛費を現在のGDP比1%程度から2027年には2%にすることを決めています。GDP比2%の防衛費といっても規模感が掴めないなので、主要国の軍事費を米ドル換算で比較してみましょう（下図参照）。

米国8769米ドルをトップとして2位中国、3位ロシアと続き、日本は

第10位の460米ドルです。これは2022年のデータですが、この年の日本の防衛費が仮にGDP比2%であったとすれば920米ドルとなり、ロシアを超えて世界3位となります。

つまり、日本の防衛費がGDP比2%になった暁には、ウクライナと戦争をしている軍事大



国ロシアの軍事費をさえ凌いで、世界3位の軍事大国となると思われます。

一方で、日本国憲法は九条第一項で平和主義を唱い、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使」を放棄し、第二項で「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」としています。

日本国憲法九条の恒久平和主義と世界3位の軍事大国化とはどう整合するのでしょうか。

⇒ 次頁へ

▼ 世界3位の軍事力をめざす自衛隊の存在は

日本政府は「自衛隊は、我が国を防衛するための必要最小限度の実力組織であるから、憲法九条第二項で保持することが禁止されている『陸海空軍その他の戦力』には当たらない。」としています。しかし、世界3位の軍事力を目指す自衛隊が軍隊ではなく、戦力でもないという政府見解は国内向けの全くの強弁です。憲法の平和主義と現実とのかくも大きな乖離は立憲主義を根底から揺るがしかねません。

皆さんの中には、政府見解が強弁であることを認めるとしても、軍事力増強は平和主義と矛盾するものではないという人がいるかも知れません。軍事大国化は日本が交戦的国家化することを意味せず、日本を取り巻く安全保障環境の厳しさに伴う抑止力の強化に他ならない、つまり平和を維持するための軍事力の増強であると考えられるかもしれません。

▼ 軍拡競争の渦に巻き込まれ 不本意な戦争への道

しかし、日本の軍事力の増強は、例えば、中国もそれに対抗して抑止力を強化するため軍事力の増強を図るであろう。中国のような日本より遥かに大きなGDPと人口を持つ国に対して軍事的に対等な抑止力を持つためには日本はGDP比2%どころか3%、4%と軍事費を増強せざるを得なるでしょう。それに対抗して中国は・・・と、両国は軍拡競争に陥ることになるでしょう（安全保障のジレンマ）。そればかりか、日本の防衛費倍増という大きな防衛政策の変更は両国を取り巻く東南アジア諸国をも軍拡競争の渦に否応なく巻き込んでいくことになってしまいます。

いずれにせよ、防衛力のさらなる増強は、国内的には立憲主義の脆弱化、法治国家の崩壊を招き、平和に生きるという人権を踏みにじる社会となり、国外的には日本を取り巻く安全保障環境を却ってますます厳しくし、不本意な戦争への可能性をますます高めるのではないのでしょうか。

（了）

佐倉市 憲法9条の条文刻んだ「鐘」



「平和の鐘」イメージ図 完成は今年2月の予定です。

全国で設置が相次ぐ「憲法9条の碑」、昨年末時点で50基になりました。佐倉・九条の会では「平和の鐘」の製作が進んでいます。教会にあるような鐘（ベル）に憲法9条の条文を刻んだプレートを設置したデザインです。

被爆80年に被爆の丘に憲法9条の碑建立

伊藤千尋さんFacebookより

被爆地の長崎は、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協が生まれた地でもあります。被爆から80年になるにあたって、爆心地の平和公園に「憲法9条の碑」（右写真）を建てることになりました。碑は5月3日をめどに建てることになっています。目標の金額は500万円です。



編集日誌

▼戦後80年の新しい年が平和で希望に満ちた年になりますよう印西・九条の会ニュース新年号をお届けします。

▼昨年の総選挙での国民の審判で、自民、公明は「少数与党」となり、衆院では数の力で悪法を通せなくなりました。改憲勢力は、改憲発議に必要な衆院3分の2の議席を下回りました。

▼自民党ぐるみの裏金事件の真相解明と、政治資金パーティー券購入を含む企業・団体献金の全面禁止は、今年も政治の大争点です。

▼新年度予算案は、過去最大の8兆7千億円もの大軍拡予算になっていきます。武力で平和は守れない、今年こそ、憲法9条を生かした外交の力で平和をつくりましょう。